

JBIC「サハリン 環境関連フォーラム」についての提案

2004 年 10 月 29 日
国際環境 NGO FoEJapan

➤ 環境関連フォーラムの目的について

- ・ 本事業において、環境社会影響を「回避」または「最小化」するため、適切な配慮がなされていることを確認すること。
- ・ 本フォーラムで環境社会配慮に不十分な点があると指摘があった場合、フォーラムの場で具体的な対応策を検討し、提示すること。
- ・ 提示された内容が、JBIC の意思決定において十分に尊重されること。また、提示された内容において、政府関係機関の役割が重要である場合、関与を求めること。
- ・ JBIC が実施する環境社会配慮に関する審査において、透明性と説明責任が確保されたプロセスを実現すること。

➤ 環境関連フォーラムの運営方法について

- ・ 議長は各回ごとに意見を集約し、その後の対応を明確にし、参加者の確認を得ること。
- ・ 各議題について、議論を十分尽くすことを主眼とし、異論や不明な点が多い場合は複数回フォーラムを開催すること。
- ・ 社会・環境影響が大きく、特に専門的な知見を要する事項においては、選定された委員による小委員会を設置し、集中的に審議を行い、提言をまとめてフォーラムの場に持ち帰ること。

➤ 環境関連フォーラムの議題について

- ・ 議題の設定は参加者の意見が随時反映されること。

【提案】

- 油流出関連
- 野生生物と生態系への影響（特に希少種、渡り鳥、海棲哺乳類について）
- パイプラインに付随する影響
- 漁業・海洋資源
- 現地住民・先住民への影響
- 累積的な影響

➤ 環境フォーラムの形式について

・ 公開性

開催日時や議題等の案内は、JBIC ホームページに掲載する。電子メール等を通じて意見や資料を受け付け、随時フォーラムの場で共有する。

・ 議事録の作成

逐語録を作成し、フォーラムで提出された資料とともに、JBIC ホームページで公開する。内容および発言者名の記載については、予め発言者全員の了解を得る。

・ 開催日時・期間

開催日時は参加者の意見を考慮し決める。当面、融資審査期間中に実施し、それ以降はフォーラムの場で改めて議論する。

➤ 環境関連フォーラムの開催地について

東京での開催のみならず、本事業による直接的な影響を懸念されている北海道で複数回開催すること。

➤ フォローアップについて

提示された対応策が適切に実施されているかどうかについて、フォーラム参加者の中から委員を選出し、継続してフォローアップを行う。